

# 造形通信

2024. 6月  
NO.69  
ひいらぎこども園

いつの間にか春も通り過ぎていきました。そろそろ梅雨の足音が聞こえてきています。気温が高くなったり、突然大雨が降ったり、風がきつかったりと気温の変動に体がなかなかついていかなかったりします。しかし、子どもたちは汗をいっぱい流しながら、園庭を走り回り、水遊びを楽しみ、毎日の生活を楽しんでいます。

## 子どもたちの

## やってみたい！

## がとまらない！

### 森作り



### あおぞらカフェ作り

年長さんの女の子が折り紙でマカロンやいろんな食べ物を作っていたのがきっかけとなり、みんなでカフェを作ろうということになりました。すると思いはどんどん広がってアイディアを出していきます。カフェの看板、メニュー表、椅子、レンジ等みんなで手分けして作り始めました。窓辺の飾りも作りしました。カフェには出来栄え満点のサランパフもあります。お部屋の入り口に木の枝を付けると、そこからもっと木を作って、森にしようということになり森作りも始まりました。子どもたちの想像力はとまるどころがありません。お部屋に入って、子どもたちに尋ねると自慢げに自分の作ったものを紹介してくれます。

いすをつくるよ！

わたしは森のカフェの看板をつくったよ！

続編！

トングを作ったよ！

## キャンプをしよう！

ピンク組ではキャンプの準備が着々と進んでいます。焚火ができあがり、バーベキューをする時のトングもできました。「みんなでキャンプをしよう！」という目標がはっきりしているので、どの子も一生懸命になるのでしょう。



## 思いっきり触れる楽しさ 描く楽しさ

心地よさを感じ 安心できる時間

自分の足にもペタペタ！

絵具ベッタリ！先生とハイタッチ！

透明ボードにも思いっきり！

子どもたちは様々な体験を通して、心を驚かせます。お部屋いっぱい敷き詰めた模造紙の上に、太い筆で思い思いに色をつけたり、壁に描いたり、透明ボードに描いたり。楽しくなってくると自分の体にローラーを走らせたり、先生の体に色をつけたり。「楽しい」と思う事で活動は広がります。そして、「楽しい」と思えることが、子どもの「安心」につながっていきます。